

歳入

地方交付税…全ての市町村で一定水準のサービスが受けられるように国が交付するお金

国・県支出金…特定事業のために国や県から交付されるお金

地方消費税交付金…消費税取の一部の中から、町の人口や事業所従業員数などを基に分配されるお金

歳出

人件費…町長や町職員の給料、町議会議員や各種委員等の報酬

物件費…消耗品の購入費、通信費や公共施設等の管理費等の経費

維持補修費…施設の修繕等に必要経費

扶助費…高齢者や乳幼児等の医療費助成、児童手当の給付等社会保障に必要な経費

補助費等…足柄西部清掃組合や小田原市斎場運営等への負担金、各種団体への補助金

公債費…町債（町の借金）と一時借入金の元本と利子の返済金

普通建設事業費…道路や公園、学校、庁舎等の公共施設を建設する経費

指標等の説明

実質赤字比率…市町村の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率

連結実質赤字比率…全ての会計の赤字・黒字を合算し、市町村全体としての赤字の程度を示す比率

実質公債費比率…市町村の借入金の返済分等の大きさを指標化し、財政負担を見るための比率

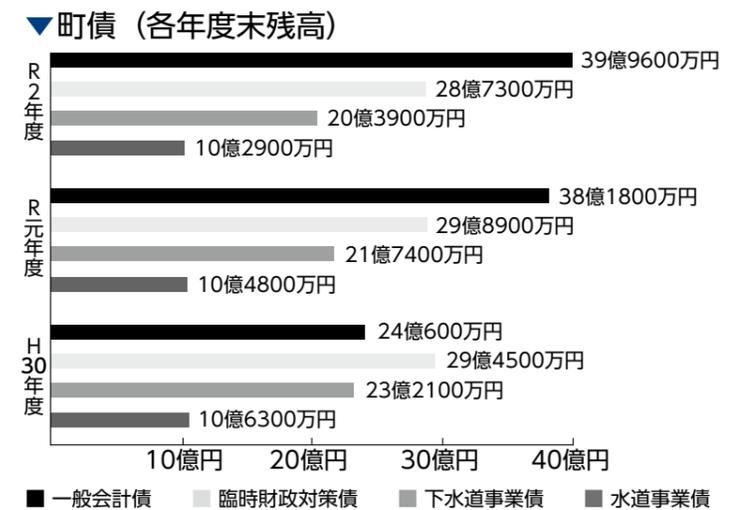
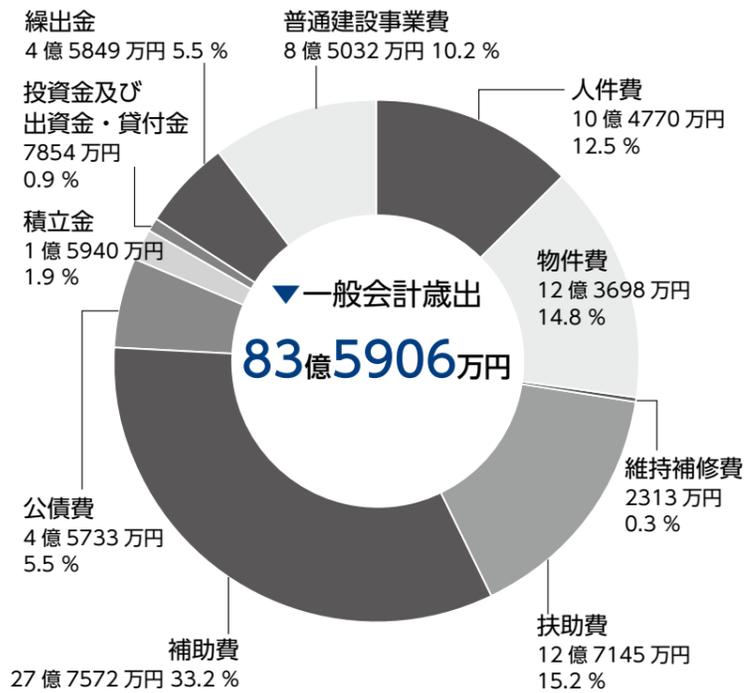
将来負担比率…市町村の借入金や将来支払いが見込まれる負債分を指標化し、将来の負担を示す比率

早期健全化基準…財政状況が悪化し、自主的かつ計画的に改善を図る必要があるとされる基準

財政再生基準…財政状況が著しく悪化し、自主的な改善が困難であるとされ、国の監視下に置かれる基準

経営健全化基準…公営企業の経営状況の悪化により、自主的かつ計画的に改善を図る必要があるとされる基準

臨時財政対策債…本来は地方交付税により収入すべきお金で、国の財源不足により町が金融機関等から借り入れているお金



公営企業等の資金不足比率 (単位：%)

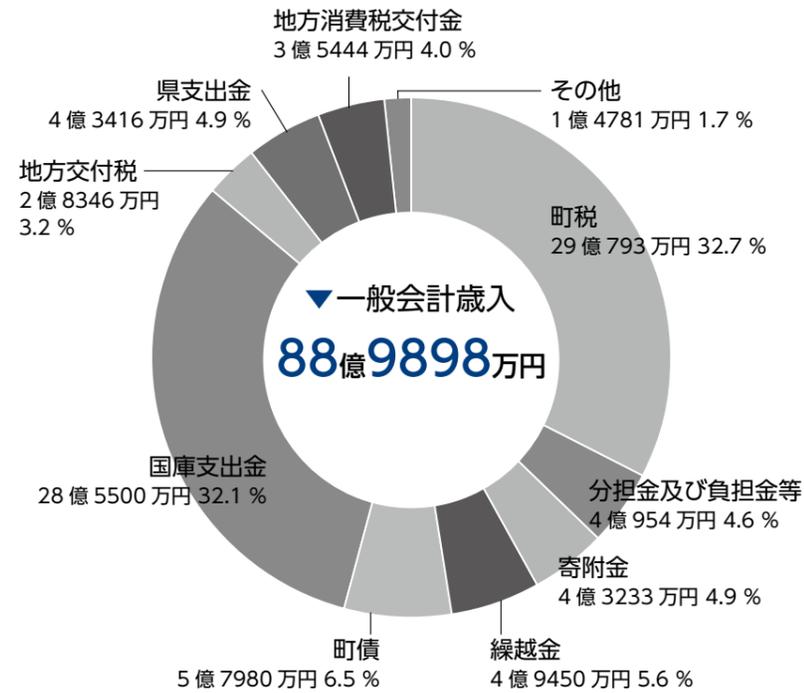
会計	開成町	経営健全化基準
開成町下水道事業会計	—	20.0
開成町水道事業会計	—	

GIGAスクール構想の早期実現

小中学校のネットワーク環境の整備を実施し、児童・生徒1人に対して1台のタブレット端末を配備

上下水道使用料の減免

5～8月分に係る上下水道使用料の基本料金を減免



特別会計・企業会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	15億7091万円	15億427万円
介護保険事業特別会計	12億3270万円	11億9000万円
給食事業特別会計	8577万円	8512万円
後期高齢者医療事業特別会計	2億4069万円	2億2999万円
水道事業会計	3億3277万円	4億9019万円
下水道事業会計	7億1248万円	8億1930万円
合計	41億7532万円	43億1887万円

財政健全化判断比率 (単位：%)

指標	開成町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	40.0
実質公債費比率	6.0	25.0	35.0
将来負担比率	57.1	350.0	—

令和2年度決算報告

一般会計の決算は、歳入が88億9千898万円（前年度比5.3%増）、歳出が83億9千906万円（前年度比5.1%増）でした。特別会計と企業会計を合わせた決算は、歳入が41億7千710万円、歳出が43億1千887万円、黒字となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は4億1千887万円、黒字となり、健全財政を維持しています。

※水道事業会計及び下水道事業会計は、経理の方法が異なり、歳入に含まれていない現金預金等があるため、歳出額が歳入額を上回っています。



財務課
8410322

主な事業（コロナ対策）
新型コロナウイルスの流行という未曾有の事態に、町では、様々な独自事業に取り組みました。

GIGAスクール構想の早期実現

小中学校のネットワーク環境の整備を実施し、児童・生徒1人に対して1台のタブレット端末を配備

上下水道使用料の減免

5～8月分に係る上下水道使用料の基本料金を減免

乳児子育て支援臨時給付金

国の特別定額給付金の対象基準日後から7月末までに出産した妊婦に対し、子ども1人あたり10万円支給

インフルエンザ予防接種助成

未就学児、妊婦及び高齢者が受けるインフルエンザ予防接種費用を全額補助

マスクの供給

品薄となっていたマスクを全世帯分確保、流通量の少ない幼児用マスクを作成・配布